

Katsuyama

KATSUYAMA HIGH SCHOOL NEWS

vol.56

2024.12

Contents

同窓会会長挨拶・校長挨拶	2
同窓会役員	3
活躍する卒業生・勝山通信	3
同窓会だより	4~5
会計報告	5
母校だより	6
活躍する部活動	7
進学・就職実績	8
事務局だより	8



同窓会会長

山下 豊

同窓生の皆様、大変ご無沙汰いたしております。平素は勝山高校、勝山高校同窓会に対し格別のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。今年も年頭の能登半島地震を始めとして数多くの自然災害が発生致しました。同窓生の皆様で被災された方々には心からお見舞い申し上げます。

さて、昨年の会報でもご紹介致しましたが、本年3月1日、ビジネス科最後の卒業生が卒業式を行きました。昭和37年商業科として開設以来62年、長い栄光の歴史に幕を閉じることとなりました。同窓会本部ではその業績を顕彰し広く後世に伝える為、ささやかではありますが、石碑を今年度建立させていただきます。揮毫は本校から教員生活をスタートされ、現在岡山県の書道教育のリーダーとなられた岡山朝日高校の北村博典先生にお願いしています。

本校は今年度4月から普通科4クラスの単科校として再スタートしましたが、残念ながら大幅な定員割れが続いております。他の県中北部の県立高校の多くも定員割れの状態が続いています。

特にお隣の真庭高校は2年続けて入学生が80名を下回り、県教育委員会の再編整備基準に抵触し、再編整備対象校となってしまいました。県教委は、平成29年に策定した県立高等学校教育体制整備実施計画に基づき、真庭市内の高校を一つに統合しようとしております。

同窓会としては、広い真庭地域に一ヵ所・一つの高校しか無い状況では生徒の通学の利便性確保が出来ないことや、進路選択の幅が極端に狭まることから、真庭市や新庄村、それぞれの地域の皆様と共に反対していくつもりです。

想定以上に少子化が進んでいく中、平成に定められた謂わば「古い基準」を適用し、統廃合を進めるのは如何なものかと考えています。落合高校に至道高校が吸収され、そのまた落合高校が久世高校と合併し真庭高校となり、その度に志願者が減ってしまったという事実への反省もなく、地域の実情、伝統を全く考慮していない統廃合には反対します。基準を画一的に当てはめる統廃合は、何より数多くの同窓生の心情を無視するものです。同窓生の皆様の強力な応援をお願い致します。

おわりになりますが、同窓生の皆様のご多幸、ご健勝、勝山高校がさらにその名前で歴史を刻むことを念願し、ご挨拶と致します。



校長

池田 浩規

全国2万人を超える同窓生の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

事務局のご尽力によって今年も同窓会報を発行することができました。関係の皆様方に心より感謝申し上げます。

今年度から普通科のみの単科校となり新生勝山高等学校がスタートしました。4クラス定員160名×3=480名の学校規模ですが、現在の在籍者数は316名。3クラス×3学年の9クラスで活発な教育活動を行っています。

岡山県教育委員会は「県立高等学校教育体制整備実施計画に係る再編整備基準」を設けており、今年度その基準に真庭高等学校が適合しました。再編整備は同一自治体内にある高等学校と行われるため、年度末に向けてどのような統合が行われるのか議論が進められることとなります。進捗状況は随時報道発表がなされますので同窓生の皆様には御注視くださいと考ておられます。

(岡山県教育委員会HP:<https://www.pref.okayama.jp/site/16/list215-999.html>)

10月に発表された令和7年度勝山高等学校の募集定員は3クラス120名となり、定員の充足に向けて校内一丸となって頑張っているところです。普通科進学校としての視点で見れば3クラスは地歴公（社会）科・理科の専門教員が配置できる最少の規模となります。これからもこの規模を維持し、地域のニーズに応えられるよう全力を挙げてまいります。

昨年、このコーナーで特徴的な取り組みについて列挙させていただきましたが、本校の進学指導で最も特徴的な取り組みは「岡山大学と連携した教員養成プログラム」だと思います。長年続いている取り組みは確実に成果をあげており、この春から多くの卒業生が大学で学んだ後、即戦力として教育現場で頑張っています。

3年目を迎えた「魁！鼓山塾」も同窓会の支援を受けながら軌道に乗せることが出来ました。地域課題を低学年で広く共有し、3年次生での学びに繋げてゆく流れを作ることが出来ました。ただし、学びの規模を拡大した結果、費用面での問題が発生していました。この点につきましては真庭市からの経済的支援も活用しながら進めていきたいと考えています。

高校存続は、地域にとって重要な問題です。本校は真庭高校とともに真庭市から多大な経済的支援を受けています。今年度真庭市では2億円の高校魅力化基金（略称）が作られました。本校ではソフトウェアにかかる部分を中心に積極的に活用させていただき、より魅力ある高校として存在感を示していきたいと考えています。

最後になりましたが、同窓生の皆様方のますますのご活躍を祈念しております。私事になりますが、4年間OB校長として皆様方に支えていただきましたことに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



同窓会役員

役名	氏名	卒期	役名	氏名	卒期	役名	氏名	卒期
会長	山下 豊	高20	東京支部長	井上 光一	高33	勝山支部長	森本 昭夫	高21
副会長	太田 詳子	高17	関西支部長	水島 隆	高28	月田支部長	植田 浩史	高27
副会長	三船 昌行	高17	鳥取支部長	山藤 輝彦	高3	富原支部長	米山 孝	高27
副会長	岡田 健	高21	岡山支部長	内山 満義	高22	美甘支部長	戸田 典宏	高36
副会長	宮島 敦子	高27	津山支部長	二木 浩	高32	湯原支部長	横辺 由江	高34
副会長	保科 英子	高32 ★	大佐支部長	森部 康英	高27	中和支部長	由井 堅史	高30
副会長 校長監事	池田 浩規	高34	新庄支部長	新家 道正	高33 ★	八束支部長	小谷 仁志	高30
監事	長尾 卓洋	高29	北房支部長	畠田 恵子	高23	川上支部長	植木 啓司	高27 ★
監事	綱島 直彦	高30	落合支部長	葛尾 公照	高44 ★			
会計事務長	平岡 明子		久世支部長	石村 修	高30			

★印は新規就任

活躍する卒業生



Ueda Haruaki

上田 治明

第55回(平成16年卒)
原子力規制委員会

学位授与式

「己を知る」

今、私は、国の行政機関であり、原子炉等の規制を行う原子力規制庁で研究職として働いています。仕事では科学的・技術的知見により日本の原子力規制（安全）を支えることを目標にし、プライベートでは自分の子供達を健やかに自立するまで育てることを目標として日々を暮らしています。

この文書を作成するにあたり、久しぶりに勝山高校の取組をホームページで見たところ、独自の生徒手帳「夢手帳」が活用されていることが紹介されていました。「夢手帳」の活用は、自分自身を客観的に把握する（メタ認知）能力の向上のためであるそうです。自分の過去を顧みても、自身や所属する組織を客観的に把握するということは非常に重要であったと実感します。

私が勝高生だった頃を振り返ると、当時の私の将来の夢は、研究者になることでした。小学校時代に同級生から京都大学がノーベル賞受賞者を多く輩出していると聞いたことがきっかけで、京都大学に進学したいと考えていました。結局、自分の力不足から、現役で京都大学に受かることができませんでした。しかし、京都大学に進学することを諦められず、母に勧められた香川の予備校で浪人生として過ごしました。おいしい讃岐うどんを活力にして、弱点や

自分に合った勉強方法を分析し、学力の向上に努めました。このような自己分析の甲斐があつて、1浪後に、京都大学に進学することができました。

大学進学後は、研究者としての強みとなる能力を得たいと考えて、プログラミングを習得するため専用のパソコンを購入し、自宅で学習を行いました。実は、授業でプログラミングの単位を落としてしまったのですが、自学自習により弱点を克服し強みとすることがきました。得られた強みを生かし、大学院時代にはIT企業でアルバイトをしたり、博士の学位を取得するための研究では、人工知能技術を活用した効率的で精度の高い放射線の測定手法を考案したりすることができました。

仕事においては、自分の組織の現状を分析した上で、重要な技術的知見は何かという分析を行っています。こうした分析を基に、技術的な動向調査や、米国の原子力規制委員会（NRC）に1年間長期滞在しての研究などを行ってきました。

「夢手帳」の取組により、勝山高校を卒業される方々が益々ご活躍されることが期待され、個人的には勝山高校が今後も発展していくのではと楽しみにしています。

勝山通信

Tadashi Sakai
第8回(昭和32年卒)
日本映画・テレビ
美術監督協会会員

第47回日本アカデミー賞授賞式が2024年3月8日、東京・グランドプリンスホテル新高輪の国際館パミールで行われ、美術監督の酒井賢さんが日本アカデミー賞会長功労賞を受賞されました。酒井さんは勝山高校の卒業生で、2015年12月発刊の同窓会会報で「活躍する卒業生」として紹介させていただきました。「ゴジラvsモスラ」、「博士の愛した数式」など、数々の美術を担当され、2002年と2015年には、日本アカデミー賞優秀美術賞を受賞されています。酒井さんが、日本を代表する素晴らしい賞を受賞されたので改めて同窓会会報で紹介させていただきました。

同窓会だより



東京支部総会・懇親会報告

支部長 井上 光一 高33回(昭和57年卒)

最初に、戦禍の続く世界の国や地域で私たちには想像もできないような生活を強いられている方々、そして日本各地でも今までにない自然災害に遭われている方々にお悔やみとお見舞いを申し上げます。

わが支部では、令和6年6月15日(土)に場所をコロナ禍前のとっとり・おかやま新橋館に戻して、支部総会と懇親会を開催いたしました。物故者のご冥福をお祈りしたのち、勝山より遠路お越しくださいました山下会長のご挨拶、池田校長の祝辞を賜り、佐田先生と仲田先生から勝山高校の近況報告をいただきました。

三船様(昭和33年卒)に貴重なお話と乾杯の音頭をとつていただき懇親会がスタート。池田校長先生の声がけもあり、初めての方も多数参加いただきました。私の力不足もあり内容的には代り映えのない会となりましたが、それでも時間とともにお互い懐かしい昔話はもとより、色んなところで繋がっていることがわかり、会話を弾みました。

小間様(旧姓藤本、昭和35年卒)には詩吟を披露いただき、マスターズ水泳において現役で活躍されている長谷部様(旧姓谷合、昭和38年卒)の紹介もさせていただきました。初参



加の福田様(平成18年卒)はプロの箏曲演奏家で9月に初のリサイタルを開催されることがわかり、来年はこの会で披露いただけるかと勝手に期待しています。他にも書ききれないたくさんのお話が聞けて、このように色んな分野で活躍されている姿は大いに刺激になります。

関西支部では地元からの参加もあったと聞いていますので、東京支部以外の方も東京見物がてらの参加も大歓迎です。来年もひとりでも多くの方に参加いただけるよう和気あいあいの会を準備いたします。予定では令和7年6月14日(土)またはその前後の土曜日に今年と同じ場所を考えておりますので、是非ともご参加いただけると嬉しいです。

最後に皆さまのご健康と益々のご繁栄を祈念申し上げます。

関西支部総会・懇親会報告

幹事 山本

令和6年6月2日(日)新大阪ワシントンホテルプラザにて、勝高関西支部同窓会総会と懇親会を開催しました。柏副支部長の司会で、水島支部長が総会開会を宣し議案審議入り、令和5年度事業を承認、令和6年度事業計画案と通常事業案を承認し総会を終え、懇親会に移行、今年1月1日に発生した能登半島地震で被災され犠牲になられた方々と、総会までにお亡くなりになられた同窓生の御靈に、全員で哀悼の黙とうを捧げご冥福をお祈りしました。その後、ご来賓のお客様からご祝辞を戴きました。

はじめに同窓会会長の山下様は、勝高の存続をかけて可能な限りの努力を行なったが、61年間の歴史のビジネス科が3月末で終了を迎えたとのご報告、会の財政も厳しく会報送付時に添付のご寄付をよろしくとのお願いがございました。池田校長は就任4年目になり、昨年11月にビジネス科11期生と商業科1期・普通科16期の多勢の皆さんとの出席で交流会を開催し、商業科閉校式を2月29日に最後の卒業生と同窓会役員の方々とで挙行したことや、地域の小中学校教員の育成に努



一幸 高16回(商1期)(昭和40年卒)

めており、地域の持続には教員養成が最重要課題であること等のお話がありました。近畿岡山会副会長久富様と岡山県大阪事務所長古好様からは、県検定や芸術祭への協力依頼要請がありました。同窓会事務局担当の佐田先生は、ご退職の前田先生の後を継がれ、部活動報告、三浦邸(椎の木御殿)のご案内がありました。前田先生にはお世話になりました、100周年記念、コロナ禍激励ご来阪、ビジネス科11期との交流会等、改めて御礼を申し上げます。本部総会令和5年度幹事の山下様と前田様にもご出席していただき、町の盛り上げにご尽力されていることを聞きました。

乾杯の刻、木村参与の発声で親睦深まる中bingoゲームが始まり、涉外担当三好委員調達の故郷名産等を景品に和気あいあいでした。校歌齊唱の余韻に、校章ボタンの学生服で団の友を紹介、来賓と同窓生と母校にエールを贈りました。宴たけなわ、出口副支部長が来年は6月8日を予定、ご健勝でまたお会いしましょう。謝辞と再会のお願いで閉会しました。

以前、私は巖流島のタオルを着け、文化会館奥でダンス練習中のビジネス科の皆さんとコミュニケーションの機会がありました。パリ採用のブレイキンは、ニューヨークの移民間抗争を、暴力の代わりにダンスで平和的に解決したのが起源と言われ、題材にしてウエストサイド物語を生み、その洋画は私達の青春でした。ダンスには力がある。商業科、ビジネス科卒の皆さん、新しい同窓会のリーダーズになってエールを贈ってくださいと思っています。

同窓会を終えて 杉本 隆弘 高44回(平成5年卒) 普通科代表

今回、母校の同窓会幹事の代表を務めさせていただきました。

昨年(令和5年)の春頃、一つ上の先輩の山下昭郎さんから、同窓会懇親会のお誘いがあり、一応私が窓口となって人集めをしました。そのあたりから嫌な予感はしておりましたが、その流れで今回私が代表幹事を仰せつかることになりました。

山下先輩から丁寧な引継ぎをしていたので、何を準備してどんなことをするかは概ね理解できていましたが、いざ始めようと思うと様々な悩みが出てきました。幹事をやってくれる人がいるだろうか、前年のような立派な懇親会ができるだろうか、人は集まるだろうか、いろいろな悩みが湧いていました。

2月に初めての幹事会を行った際に10名程度の同級生が集まってくれてとてもホッとしたことを覚えています。その会議の際に一番の懸案であった余興を中村稔くんが受けてくれたことも大変ありがとうございました。はじめの頃はぎこちなかった幹事会も、数回の幹事会や余興の練習を行うにつれてだんだんとチームワークが出来てきました。

そして当日、当初の想定を超える70人の同級生が集まってくれました。顔や雰囲気が変わっていても、話すとすぐに当



時の高校生にタイムスリップした感覚になりました。

太田市長や同窓会役員の方や前年度幹事、次年度幹事の方を含め総勢100人での懇親会は大変盛り上がりました。特に、最後に全員で踊ったフォークダンスは圧巻でした。皆さんのが楽しそうな顔を見ていると、これまで頑張ってきた甲斐があったなとつくづく思いました。

こうして今年の同窓会が無事開催できたのも、幹事の皆さんのが協力があってこそだと心底感謝しています。やっぱり同級生はいいなーと改めて感じました。久しぶりに再会できた同級生も多くいて、この機会に新たなつながりも出来ました。このつながりを大切にしていきたいと強く思いました。

本当にみんなありがとう!!

令和7年度 本部総会の お知らせ

来年度の当番幹事は、平成6年3月卒業の皆様方です。ご協力よろしくお願いします。

日 時 令和7年8月10日(日) 10時

場 所 勝山高校会議室

懇親会 12時より **会 場** 勝山文化センター

会 計 報 告

収入の部

(単位:円)

科 目	予算額	収入済額	比較増減(△)	摘 要
縁 越 金	1,822,528	1,822,528	0	令和4年度からの縁越金
生徒入会金	0	△ 5,000	△ 5,000	返金1名
雑 収 入	472	36,516	36,044	預金利息、寄付、同窓会名簿販売代
合 計	1,823,000	1,854,044	31,044	

支出の部

(単位:円)

科 目	当初予算額	流用額	予算現額	支出済額	残 額	摘 要
広 告 費	50,000	32,000	82,000	81,070	930	真庭タイムス、 真庭いきいきテレビ広告料
旅 費	180,000	0	180,000	114,930	65,070	支部役員会等出席旅費等
会 議 費	100,000	0	100,000	95,000	5,000	支部会議参加費
慶弔 費	40,000	0	40,000	17,160	22,840	退任者記念品
通 信 費	30,000	0	30,000	15,610	14,390	郵送料
助 成 費	250,000	0	250,000	90,000	160,000	各支部助成金
需 用 費	100,000	31,000	131,000	130,807	193	消耗品購入費等
予 備 費	1,073,000	△ 63,000	1,010,000	0	1,010,000	
合 計	1,823,000	0	1,823,000	544,577	1,278,423	

収入済額1,854,044円-支出済額544,577円=残額1,309,467円(令和6年度へ縁越)

収入の部

(単位:円)

令和5年度 同窓会会報会計決算書

科 目	予算額	収入済額	比較増減(△)	摘 要
縁 越 金	449,063	449,063	0	令和4年度からの縁越金
賛 助 金	2,068,000	1,674,890	△ 393,110	657件
雑 収 入	937	0	△ 937	
合 計	2,518,000	2,123,953	△ 394,047	

支出の部

(単位:円)

科 目	予算額	流用額	予算現額	支出済額	残 額	摘 要
賛 助 金 振込手数料	104,000	18,000	122,000	121,577	423	657件
会報発行費	1,794,000	0	1,794,000	1,791,734	2,266	
口座振込 手数料	1,000	0	1,000	0	1,000	
予 備 費	619,000	△ 18,000	601,000	0	601,000	
合 計	2,518,000	0	2,518,000	1,913,311	604,689	

収入済額2,123,953円-支出済額1,913,311円=残額210,642円(令和6年度へ縁越)
(ただし同窓会会計に統合する)

母校だより



第25回 鼓山祭

「鼓山祭」が今年も開催されました。昨年、長い歴史を持つ鼓山祭が大きな変革を迎えたのは記憶に新しいことです。日程の見直しや種目の再編成といった大胆な挑戦を経て、今年は「Better Than Ever」をスローガンに掲げ、生徒たちは昨年よりさらに充実した内容を目指しました。

体育の部では、昨年の経験をもとに、「どうすれば全員がもっと楽しめるか?」と生徒たちは話し合いを重ね、各競技やレクリエーションの準備を進めました。その結果、当日は熱気あふれる競技と生徒たちのチームワーク、そして工夫を凝らした応援が会場全体を包み込み、笑顔と歓声が響き渡りました。例年にも増して団ごとの個性あふれる応援パフォーマンスが見どころとなり、仲間と共に達成感を分かち合う場面が随所に見られました。

文化の部では、昨年の盛り上がりに負けず劣らず、生徒たちの思い出に残るものとなりました。展示の部では、準備期間中から段ボールなどを使ってコツコツと作り上げた作品が、当日には可愛らしく、また場所によっては少し不気味に飾り付けられ、どのクラスも大盛況でした。舞台の部では、各クラスが演出や小道具に工夫を凝らし、観客が時間を忘れるほど惹きつけました。また、昨年に引き生徒会企画として「のど自慢大会」が開催され、大きな盛り上がりを見せました。生徒が主体的に企画・立案し、運営まで行う姿には大きな成長が感じられました。体育の部同様、「Better Than Ever」のスローガンにふさわしい、今までを超える充実した2日間になったと感じています。

仲間と協力し合い、自ら創り出した行事の中で充実感を分かち合う生徒たちの姿から、鼓山祭が単なる学校行事の枠を超えて、生徒たちにとってかけがえのない時間になっていることを実感します。挑戦を重ね、進化し続ける鼓山祭の未来がさらに楽しみになりました。最後に、この鼓山祭を支えてくださったすべての皆様に心から感謝申し上げます。



2年次生修学旅行

6月11日（火）～14日（金）の3泊4日の日程で、2年次生は関東方面へ修学旅行に行ってきました。天候にも恵まれ、予定通りの行程を無事終えることができました。

初日は新幹線で移動し、東京到着後はコース別研修で、東京スカイツリー、迎賓館赤坂離宮、国會議事堂などを訪れました。また、夜には隅田川クルーズで優雅な時間を過ごすことができました。2日目は各班が事前に立てた計画を元に班別自主研修を行い、貴重な体験となりました。3日目は東京ディズニーリゾートへ行きました。ディズニーシーに新しくオープンしたファンタジースプリングスというエリアに早起きをして

入場した生徒もおり、多くの生徒が夢の国を閉園まで満喫することができました。最終日は浅草で自由散策をし、クラスごとに分かれて月島でもんじゃ焼きを食べて、飛行機で帰途に就きました。

今回は、修学旅行委員を中心に事前にしっかりと準備して計画を練り、当日を迎えたため、大きな失敗もなく、多くの学びや発見がありました。最後まで皆元気に過ごすことができ、思い出に残る修学旅行になりましたこと、ご協力くださいました全ての皆様に感謝申し上げます。



活躍する部活動

運動部

硬式野球部

- ・第105回全国高校野球選手権岡山県大会 ベスト16
- ・第71回卓球部
- ・第71回美作地区高等学校総合体育大会卓球の部 男子第4位 女子優勝
- ・第63回岡山県高等学校総合体育大会卓球の部学校対抗 女子第7位
- ・第71回中国高等学校卓球選手権大会 女子学校対抗・女子シングルス 坂本薫香（3年）出場
- ・第52回全国高等学校選抜卓球大会岡山県予選会（学校対抗） 男子第7位

陸上競技部

- ・第71回美作地区高等学校総合体育大会 女子200m 第2位 宗森 葵生（1年）
- ・第63回岡山県高等学校総合体育大会美作地区予選会 2種目通過 県総体出場

ソフトテニス部

- ・第71回美作地区高等学校総合体育大会 ソフトテニスの部 女子第3位
- ・令和7年美作地区高等学校 ソフトテニス選手権大会 女子 吉田・小林ペア 第3位
- ・岡山県高等学校新人ソフトテニス大会（ダブルス）美作地区予選会 男子 磐田・浅野ペア 鮎川・長尾 ベスト16 女子 山本瑠・栗柄ペア 準優勝 吉田・小林ペア 第3位

男子バレーボール部

- ・第78回岡山県高等学校春季バレーボール選手権大会美作支部予選会 第4位
- ・第71回美作地区高等学校総合体育大会 バレーボールの部 出場
- ・令和6年度全国高等学校総合体育大会岡山県予選会 兼第62回岡山県高等学校総合体育大会 出場
- ・第25回TOB杯バレーボール大会 出場

女子バレーボール部

- ・第78回岡山県高等学校春季バレーボール選手権大会美作支部予選会 第2位
- ・第78回岡山県高等学校春季バレーボール選手権大会 出場
- ・第71回美作地区高等学校総合体育大会 バレーボールの部 第4位
- ・令和6年度全国高等学校総合体育大会岡山県予選会 兼第62回岡山県高等学校総合体育大会 出場
- ・第25回TOB杯バレーボール大会 第3位
- ・令和6年度岡山県高等学校バレーボール選手権大会 岡山県ペスト16

サッカー部

- ・第71回美作地区高等学校総合体育大会サッカー競技 第2位
- ・第63回岡山県高等学校総合体育大会サッカー競技 兼令和6年度全国高等学校総合体育大会サッカー競技 岡山県ペスト16
- ・令和6年度美作地区高等学校サッカー選手権大会 第2位
- ・令和6年度岡山県高等学校サッカー選手権大会 兼第103回全国高等学校サッカー選手権大会 岡山県大会 岡山県ペスト28

令和6年度部活動 主な成績

バスケットボール部

- ・第4回OBA U-18バスケットボールリーグ2024 兼第79回国民体育大会バスケットボール競技岡山県選考会 出場
- ・第71回美作地区高等学校総合体育大会バスケットボール競技 出場
- ・令和6年度第77回全国高等学校バスケットボール選手権大会岡山県予選会 出場

バドミントン部

- ・令和5年度岡山県高等学校バドミントン競技春季大会 兼第78回国民体育大会第1次予選会 出場
- ・第71回美作地区高等学校総合体育大会バドミントン競技
- 男子団体戦 第2位
- 男子個人戦（ダブルス） 第2位 中村・青木ペア
- 第8位 今石・奥田ペア
- 第12位 安井・阪本ペア
- 第14位 谷本・齋藤ペア
- 女子個人戦（ダブルス） 第5位 川上・本多ペア
- 第9位 大木・立石ペア
- 第12位 宮田・植田ペア

第63回岡山県高等学校総合体育大会

- バドミントン競技会
- 男子団体戦 ベスト8
- 男子個人戦（ダブルス） 出場
- 女子個人戦（ダブルス） 出場
- ・第42回全日本ユニアーバドミントン選手権大会岡山県予選会 出場
- ・令和6年度岡山県高等学校バドミントン競技秋季大会美作地区予選会
- 男子団体戦 第2位
- 女子団体戦 第4位（男女ともに県大会出場）
- 男子個人戦（ダブルス） 第3位 青木・奥田ペア
- 第7位 阪本・谷本ペア
- 第9位 谷口・中尾ペア
- 第10位 伴・齋藤ペア
- 女子個人戦（ダブルス） 第2位 川上・本多ペア
- 第7位 植田・渡邉ペア
- 第9位 増本・三船ペア

水泳競技

- ・第52回岡山県高等学校水泳競技大会（児島地区公園水泳場25mプール）森脇 聰太（2年）
- 男子200mバタフライ 第3位（2:08.77）
- ・第63回岡山県高等学校総合体育大会 兼第92回岡山県高等学校選手権水泳競技大会 兼第72回中国高等学校選手権水泳競技大会岡山県予選会（倉敷市屋内水泳センター）
- 黒瀬 蒼空（2年）
- 男子1500m自由形 第3位（17:43.69）
- 森脇 聰太（2年）
- 男子100mバタフライ 第8位（1:01.03）
- 男子200mバタフライ 第5位（2:17.28）
- 串馬 葵（2年）
- 女子200mバタフライ 第5位（2:43.87）
- 高山 陸斗（1年）
- 男子1500m自由形 第2位（17:36.41）

第72回中国高等学校選手権水泳競技大会

- （島根県立水泳プール）
- 黒瀬 蒼空（2年）
- 男子1500m自由形 第15位（17:58.19）
- 森脇 聰太（2年）
- 男子100mバタフライ 第17位（1:00.25）
- 男子200mバタフライ 第18位（2:17.48）
- 串馬 葵（2年）
- 女子200mバタフライ 第19位（2:45.37）
- 高山 陸斗（1年）
- 男子1500m自由形 第13位（17:48.60）
- 男子1500m自由形 第9位（17:53.63）
- 串馬 葵（2年）
- 女子200mバタフライ 第10位（2:44.52）
- 女子100mバタフライ 第14位（1:11.82）
- 高山 陸斗（1年）
- 男子1500m自由形 第6位（17:32.85）
- 男子400m自由形 第11位（4:27.02）

文化部

吹奏楽部

- ・第65回岡山県吹奏楽コンクール 高等学校 小編成の部 銅賞

書道部

- ・第40回成田山全国競書大会 佳作 乾 陽葉（3年）
- 光本 聖（2年）
- 宮田 愛実（2年）
- 宮本 奈々（2年）
- ・第49回ふれあい書道展 奨励賞 乾 陽葉（3年）
- ・第53回全国高校書道展 準特選 乾 陽葉（3年）
- 宮田 愛実（2年）
- 宮本 奈々（2年）
- 脇田 大空（1年）
- 入選 光本 聖（2年）
- 桐原 瑞衣（1年）
- ・新町どんぐり公園の植物の説明看板の制作 「鉢木敏夫とジブリ展」開催記念としてジブリの名セリフを書こう」制作・展示（於 表町商店街 7月9日～9月1日展示）
- 「真庭・新庄地域 安心安全まちづくり推進大会」書道パフォーマンス（於 勝山文化センター・ポンテホール 9月16日実施）
- 岡山城和文化体験事業「岡山城でJAPANする!」書道パフォーマンス（於 岡山城天守閣前広場 10月20日実施）

英会話同好会

- ・第27回真庭地区中学校・高等学校 英語スピーチコンテスト 高校生スピーチの部 第1位 岩野 明里（2年）
- 第2位 瀬島真愛子（2年）

美術部

- ・令和6年度高校生美術コンクール キャラクターイラストレーション部門 銀賞 古林 大空（1年）
- ・勝山地区環境衛生委員会事業 「生ごみ啓発事業ピクトグラムデザイン募集」 最優秀賞 小谷 実洋（1年）
- 優秀賞 石田 さち（1年）



卓球部

卓球部は、3年次生5名、2年次生4名、1年次生4名、合計13名で活動しています。

平素より、卓球部の活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

卓球部の最近の戦績をご報告します。

女子団体が、令和5年度に第51回全国高等学校選抜卓球大会中国地区予選会に出場、令和6年度に第71回中国高等学校卓球選手権大会に出場、個人では3年次生の坂本薫香が出場しました。どの種目も勝利を挙げることはできませんでしたが、選手・ベンチ・観客が一体となって最後まで諦めることなく戦うことができました。また、令和5年度の中国選抜大会への出場は、本校の卓球部として久しぶりの団体での中国大会出場となりました。学校も盛り上がり、地域の方々から

激励の言葉などもたくさんいただきました。

さらに、令和6年度の中国大会の出場で、本校女子卓球部が同大会への出場が通算十回目となり、表彰を受けました。先輩方の偉大な記録を一步進めることができました。

これらの大会出場にあたっては、保護者の方々、大会役員の方々、本校職員のみなさんなど、本当にいろいろな方々に助けていただきました。この場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございました。

新チームに代替わりしてからも、部員たちはコツコツと活動を継続しています。休日の活動では、地域の大会に参加し、準備片付けを手伝ったり、審判を積極的にしています。また、外部の方を積極的に招いて指導を受けたりもしています。このような経験を通して

て、技術の向上や試合に勝利すること以上に、社会性を身に付けることを大切にしています。

「応援されるチームに」「環境に文句を言わない」などの言葉を胸に刻み、これからも精進してまいります。今後もご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

進学実績

《令和5年3月合格者状況》※()は既卒で内数

大学名	合計
鳥取大	1
島根大	4
岡山大	4
広島大	2
山口大	1
徳島大	1
九州大	1
長崎大	1
合計	
15	

大学名	合計
静岡農林職大	1
福井県立大	1
公立大	1
公立鳥取環境大	
島根県立大	2
岡山県立大	4
尾道市立大	1
山口県立大	1
合計	
12	

大学名	合計
神奈川大	2(2)
関東学院大	2(2)
私立大	1
淑徳大	
名古屋商大	1(1)
名古屋芸大	1
1	
1	
1	
1	
1	
1	

大学名	合計
京都産業大	9
京都外大	1
私立大	1
佛教大	2
立命館大	7
龍谷大	17
追手門学院大	2
近畿大	2
摂南大	7
桃山学院大	1
大阪電気通信大	1
合計	

大学名	合計
常磐会学園大	1
鳥取看護大	1
私立大	3
岡山理大	8
就実大	8
清心女子大	4
川崎医療福祉大	13
美作大	9
岡山医療専門職	1
福山平成大	2
福山大	1
合計	

大学名	合計
朝日医療大学校	2
専門学校等	1
倉吉総合看護専門	1
丹波市立看護専門	1
神戸元町医療秘書専門	2
専門学校ビーマックス	1
岡山情報ビジネス学院	6
専門学校岡山ビジネスカレッジ	2
岡山技術専門	3
大原ビジネス公務員専門	1
合計	

大学名	合計
Toyooka KABAN Artisan School	1
大阪ウェディング&ブライダル専門	1
合計	



就職実績

就職事業所	合計
海上自衛隊一般曹候補生	1
新庄村役場 会計年度任用職員(期限付)	1
合計	

就職事業所	合計
津山信用金庫	1
民間事業所	1
日本郵便株式会社中国支社	
株式会社デンソー勝山	1
代々木アニメーション学院	1
神戸甲陽音楽＆ダンス専門	1
大阪ダンス・俳優＆舞台芸術専門	1
中山石灰工業株式会社	1
有限会社き葉品グループホームきのじょう	1
合計	
9	

事務局だより

会報賛助金納入のお願い

このたび、同窓会報第56号を発行することができました。同窓会として、このような会報誌を会員の皆様にお届けすることで、母校を懐かしんでいただき、更には母校の発展、会員の親睦に繋がればと考えております。そこで、同窓会活動の活性化、より内容の充実した会報を皆様にお届けする為に、会員の皆様に会報賛助金+記念碑3,000円(令和6年分+記念碑)のご協力のお願いを申し上げます。

封筒内に振込み用紙を同封しておりますので、お近くのコンビニ、または郵便局からご入金していただきますようお願い申し上げます。



同窓会を開催しませんか?

「学年同窓会を開きたいな~」「最近みんな会ってないな~」「クラブOB会を開きたいな~」といったお声にお応えし、同窓会が各種同窓会を開催を応援いたします。(有料)

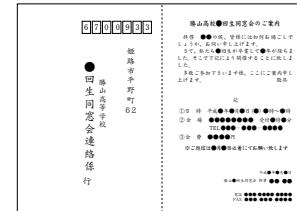
対象者 同窓会員(現旧職員含む)に限ります。

内 容 ①宛名タックシールの作成

②同窓会開催の案内ハガキ(右見本)の作成(往復ハガキ含む)

※出欠の集計、会費の入金管理も行うことが可能です。
※個人情報の管理のため住所データの提供は行いません。

案内はがき見本



往復はがき

PayPay、auPAY、
LINE Payでもご利用
いただけます



編集後記

今年から普通科単科校としてスタートした勝山高校。昨年度のビジネス科閉校に伴い、記念碑の建立を予定しています。会報賛助金と合わせて、ご寄付をお願いできたらと思います。今年度の同窓会活動については、通常開催に戻つて2年目ということもあり、それぞれの支部での活動が力を取り戻しているように感じました。苦しい時期でも諦めず、勝山高校同窓会存続のために、同窓生の皆さんのがご尽力し続けてくれているおかげだと感じた1年でした。